

1 学習指導案

①ねらい等

プログラム	No. 8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全 40 時間)	地域の宝を写真で残そう～「新・つながり隊」～ (探究課題：地域の特色を生かした地域活性化のための取組)
学習のねらい	<p>・入山の歴史・文化・景観を後世に伝えていくために、地域の魅力について調査する活動を通して、地域の魅力は人々がつながり合って形成されてきたことに気付く。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・「後世へ残す」を視点に取材することを通して、入山の魅力について「歴史」「文化」「景観」「防災」等、多角的に考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・写真展の企画・開催を通し、来校した方の思いを聞く中で、由比・入山の未来のために自分にもできることがあると気づき、自己有用感を高める。→感動体験</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>
学習内容	<p>1 これからもずっと残したい、地域の宝を探そう。 →S型デイサービスの利用者の方に紹介しよう。</p> <p>2 地域の人が大切にしている人・もの・ことについての思いを聞こう。 →統合先の由比小学校の子どもたちに地域の宝をPRしよう。</p> <p>3 閉校式で写真展を開催・運営しよう。 →閉校式で由比北小に関わってきたすべての人に、地域の宝を伝えよう。</p>
参考資料 準備品 実施場所等	<p>(協力者)</p> <p>・望月淳様 (地域の写真家) 写真撮影の技法の指導助言</p> <p>・望月亜沙子様 (株式会社すろーかる編集長) 編集者のプロの視点からの指導助言</p> <p>・その他 地域人材</p>

②学習の流れ (計画段階案)

時間	学習活動	教師の指導	評価
①	学習内容① 6月～7月	○未来に残したい、地域の宝。どんなものがあるのかな。	・歴史文化、景観 (自然そのものや自然を生かして作られてきた場所)、地域の人が宝だと考えることができる。
②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> これからもずっと残したい、地域の宝を探そう。 </div>	・対話を経て、それぞれの児童のテーマを決める。	【知識・技能】
③		「歴史文化」「景観」「人」など ・試しに写真を撮影しに行く ○写真をみんなで見合おう。 →もっと上手に撮影したいという思いを高める。	
	児童それぞれが「歴史文化」「景色」「人」などテーマを決めて、調査活動をして、写真撮影をする。		

<p>④ ⑤</p>	<p>写真を上手に撮影する方法を学ぶ。</p>	<p>○望月さん（卒業生の祖父）から写真撮影のコツを学ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真に込めた思いを表現できるように、アングルを工夫したり、撮影する光の向きなどを考えたりすることを学ぶ。 ・特に人を撮影する児童には、その人のどんな魅力を引き出すのかを考え撮影することの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望月さんの話から、被写体の魅力を引き出すテクニックについて学び自分なりに理解する。 <p>【知識・技能】</p>
<p>⑥ ⑦ ⑧</p>	<p>望月さん（卒業生の祖父）が撮影した地域の魅力を見せてもらいながら、被写体の魅力を引き出す写真撮影のテクニックについて学ぶ。</p>	<p>○それぞれのテーマに沿って、写真を撮影しに行こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぎ穴、船場方面グループ、桜野、槍野方面グループに分かれて写真撮影に出かける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望月さんから学んだ点を意識し、自分の伝えたい地域の魅力について情報を集める。 <p>【知識・技能】</p>
<p>⑨</p>		<p>○写真が集まってきたよ。地域の宝を整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影した写真を歴史文化、景観、人のジャンルに分け、自分たちの残したい宝を表現できているのか話し合う。 ・「人」の魅力を伝えることの難しさに気付けるように、焦点化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まってきた写真について、テーマごと整理することで、魅力をまだ十分に引き出せていない項目があることに気付く。【思考・判断・表現】
<p>⑩ ⑪ ⑫</p>	<p>今年度よりスタートした空き教室を活用したデイサービスにて、利用者の方へ向けた写真展を開催し、感想を聞く。</p>	<p>○デイサービス利用者の方に写真を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の負担も考え、短時間で写真について伝える。 ・写真に込めた思いがきちんと伝わっているのか、アンケートをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで集めてきた情報量で写真展を開く方法について、写真の展示の仕方や、順番などを工夫して準備することができる。【思考・判断・表現】
<p>⑬ ⑭</p>	<p>天神屋広報部長北川さんから評価をもらう。</p>	<p>○写真で伝えたいことがきちんと伝わっているのか、ご意見をいただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真だけでは何を伝えたいのかがはっきりしないことに気付く。 ・伝えたいことをストレートに伝えるためには、短い文章も付けると効果的だと知る。 ・地域の人にもっと取材して、つながりをもつことの大切さに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の専門家のアドバイスを聞き、主体的に自分たちの活動の課題や、今後の方向性を見出そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 <p>・地域の宝をもっと探そうと</p>

<p>⑮ ⑯ ⑰ ⑱</p>	<p>学習内容² 9月～1月</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地域の人大切にしている「人・もの・こと」についての思いを聞く。</p> </div> <p>入山・室野地区のそれぞれの集落の魅力についてインタビュー活動。</p>	<p>○もっと多くの地域の方とつながり、地域の宝を探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域の方とつながる必要性を感じ、デイサービスの方に地域の人を紹介していただく。 ・それぞれの集落の方などへ、その地域の魅力についてインタビューする。 	<p>、デイサービス利用者の方から進んで新たな情報を得ようとインタビューしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>
<p>⑲</p>		<p>○地域の魅力を引き出すような展示を制作しよう。</p>	<p>・新たな人のつながりから得た情報（地域の魅力）を入れ込み、展示作品を制作することができる。</p>
<p>⑳</p>	<p>天神屋広報部長の北川さんに再度作品を見ていただくことで、よりよくなった点や、さらによくできるような表現方法についてご意見をいただく。</p>	<p>○天神屋広報部長の北川さんに、展示作品を見てもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を複数枚つないだ表現や、短い文章を添える表現など、多様な表現方法を北川様に評価していただく。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川さんからのアドバイスをもとに、多様な表現方法を視点に作品を見直し、工夫しようとしている。
<p>㉑</p>		<p>○由比小学校の子に、北小学区の宝を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由比小学校で実施するため、スライドに写真や文でまとめ、発表する形式で行う。 ・由比小の児童にも分かりにくいものがないか、どんなことが伝わったか確認する。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由比小児童からの感想を聞き、もっと知りたい点などを知り、閉校式に向けて主体的に課題を改善しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>
<p>㉒</p>	<p>学習内容³ 1月～2月</p>		
<p>㉓</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>閉校式で写真展を開催・運営しよう。</p> </div>	<p>○本物の写真展では、どのように展示方法を工夫しているのかな？実際に見てみよう。</p> <p>（様子の写真、可能であれば写真展を見学しに行く）</p>	<p>・写真展の様子を観察し、写真で伝えたい思いをどのような工夫で展示しているのか、その技法を学ぶ。</p>
<p>㉔</p>		<p>○学んだ展示の工夫を生かして、展示作品をもっとよいものにしよう。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の写真展で学んだ表現方法を駆使して、地域の宝の魅力について伝わるよう展示方法を考えている。
<p>㉕</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・展示会の工夫を設計図にして書き込む。 	<p>【知識・技能】</p>
<p>㉖</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・写真の展示方法について考え、展示物を作り上げる。 	<p>【知識・技能】</p>

<p>⑳</p> <p>㉑</p> <p>㉒</p>	<p>3月22日（日）の閉校式に合わせて、写真展を開催。</p>	<p>○写真展の運営について考え、リハーサルをしよう。</p> <p>・案内役、説明役、アンケート役に仕事を分担し、来場者に地域の宝が伝わるように準備・練習をしよう。</p> <p>・「地域の宝を伝えよう」をテーマに閉校式で写真展を開催する。</p>	<p>・リハーサルから当日の運営までを運営し、「地域の宝を伝えたい、残したい」という視点で振り返ることで、地域の一番の宝は自分たちを支えてくれた地域の人であると気付くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
----------------------------	----------------------------------	---	--

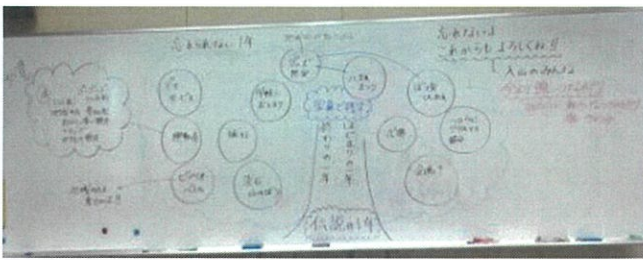
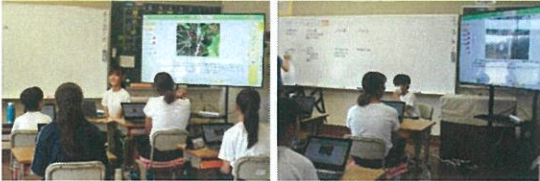


<留意点>

- ➡ 学習内容① これからもずっと残したい、地域の宝を探そう。
- ➡ 学習内容② 地域の人大切にしている人・もの・ことについての思いを聞こう。
- ➡ 学習内容③ 閉校式で写真展を開催・運営しよう。

これらの学習のつながりを「子どもの問い」や「子どもの〇〇したい」という思いでつないでいきたい。そのため、外部から評価をいただく場面を設定している（S型デイサービス利用者、天神屋北川様など）。外部講師には、「歴史文化」「景観」「人」の作品量のバランスや、展示方法のバリエーションなど多様な視点から評価いただけるよう事前に十分な打ち合わせを行う。評価をいただくことで、「〇〇するためにはどうしたらいいかな?」「もっと□□な作品に仕上げたい!」という思いを高め、次の活動への追究力としていく。

2 実施内容報告詳細

(1) 実際の活動 (全45時間)

担当時間	学習活動 ・子どもの反応	支援と評価
<p>つかむ ①②③④</p>	<p>これからもずっと残していきたい入山の宝とは、何だろう。</p> <p>「自然」「人」「人の良さ」</p> <p>閉校の時に、みんなの「つなぐ」を写真で残そう</p>  <p>※第1時の板書写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉校の年だけど、終わりは、はじまりの一年と、前向きに考えて活動したいな。 ・地域の魅力を「つなぐ」ためにも、この地域の魅力を調査して、写真におさめていきたいな。 	<p>支援と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化、景観（自然そのものや自然を生かして作られてきた場所）、地域の人が宝だと考えることができる。 <p>【知識・技能】 発表・活動</p>
<p>つきまわす ⑤</p> <p>⑥⑦⑧ ⑨⑩</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮って見たけど、うまく撮れないな。 <p>写真撮影のコツを学ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想いに合わせた「アップ」「ルーズ」の使い分けが大切なんだな ・光の向き・フラッシュの活用・アングルの決め方で写真の雰囲気はずいぶん変わるんだね ・よし、写真をたくさん撮ろう。 <p>地域の写真を撮影に出掛けよう。</p> <p>地域ごとにグループをつくって写真撮影に出かける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地域の自然の美しさを伝えたいな ・歴史や文化が伝わる1枚にしたいな。 <p>地域の「宝」って何だろう？</p>   <p>※撮影した写真について紹介し合い、話し合う様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宝」として選んだもの（ぶどう園や神社など）は、見方によって「宝」の価値が変わってくるよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の写真家である望月さんから被写体の魅力を引き出すテクニックについて学び、自分なりに理解する。 <p>【知識・技能】 活動・写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考える地域の魅力をたくさん撮影することで、自分が「良い」と思っても、相手に「良い」と伝わらない矛盾を感じさせる。 ・集まってきた写真について整理し、自分たちの残したい宝を表現できているのか話し合う中で、魅力を十分に引き出せていない項目があることに気付く。 <p>【思考・判断・表現】 発表・活動・写真</p>  <p>※教室の「宝」の掲示物</p>

・ぶどうは、「自然」もあるし、「歴史」もあるけど、根っこにあるのは、「人」の思いだよな。
 ・「宝」をつないできた「人」の思いは、聞いてみないと分からないよね。

⑪⑫⑬⑭
 ⑮⑯

想いがこもった場所を調べよう。

- ・実際に思い出の場所を聞きに行こう。
- ・その場所に行って、写真を撮ってみよう。
- ・様々なアングルから写真を撮影したいな。

⑰⑱

一度、写真を紹介してみよう。

- ・英君酒造の杉玉を撮影したよ。どんなアングルからの写真だったら、この魅力が伝わるかな。
- ・古い建物として、入山簡易郵便局を撮影したよ。山田さんはどうして郵便局をつぐことにしたのかな。
- ・地域の人にはどんな場所を大切に思っているのかな。

⑲⑳㉑㉒
 ㉓㉔㉕

地域の人にインタビューしよう。



※地域のお祭りでのインタビュー活動の様子

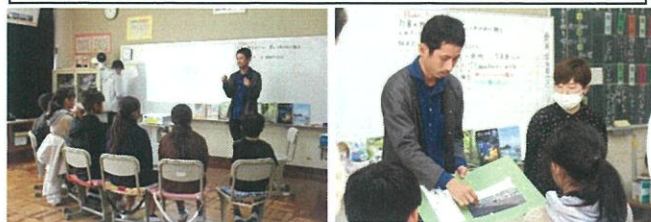


※地域会合でのインタビュー活動の様子

- ・インタビューって難しい。どんな質問をすれば、こちらが聞きたいことを引き出せるのかな。
- ・プロの人に、コツを聞いてみたいな。

⑳㉑㉒

株式会社すろーかるの編集長の望月さん、カメラマン芦沢さんから、相手に「伝わる表現方法」を学ぼう。



※「表現方法」を学ぶ子どもたち

- ・インタビューするときには、まずは笑顔で世間話から

・写真に込めた思いがきちんと伝わっているのか、アンケートをとることでよかったことを認めてもらうとともにアドバイスをもらい「人の思い」に視点を向けさせていく。

【思考・判断・表現】
 【主体的に学習に取り組む態度】
 活動・写真・ワークシート

・広報の専門家のアドバイスを聞き主体的に自分たちの活動の課題や、今後の方向性を見出しながら、地域の人にもっと取材して、つながりをもとうとしている。

【思考・判断・表現】
 【主体的に学習に取り組む態度】
 写真・ワークシート・活動

入ると、相手の心が開きやすいな。
 ・相手の話に「興味をもつ」。この姿勢が相手に伝わると、相手の話に「熱」が帯びてくるんだね。
 ・写真のアングルも、「何を伝えたいのか」によって、構図を工夫する必要があるんだね。
 ・学んだことを生かして、入山簡易郵便局をついだ山田さんにもインタビューしてみたい！

学んだことを生かして、入山簡易郵便局の山田さんに取材してみよう。

29 30



※プロのアドバイスのもと取材活動を体験

・初めてきちんとインタビューすることができたよ。
 ・山田さんの思いを伝えるために、表情に焦点をあてて写真を撮影することができたよ。

・インタビュー、写真のテクニックを活用しながら、相手の思いを聞き出せるよう、全員に取材練習をする機会を設定する。

・学んだことを生かして、相手の思いを引き出すような工夫をしている。

【知識・技能】

インタビューの様子、写真

34 35 36 37

今までの調査で得た「入山の宝」をまとめてみよう。

※ここまでの調査活動について、厳選した写真と言葉で友達や、次年度合流予定の由比小学校児童に発表する準備をする。

「入山の宝」を発表して、感想を聞こう。



※次年度合流する由比小児童へ発表する様子

・由比小児童からの感想を聞き、もっと知りたい点などを知り、閉校式に向けて主体的に課題を改善しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

発表の様子

つなげる
⑳㉑㉒㉓
㉔㉕㉖

写真展の準備をしよう。

- ・写真の並べ方を考えよう。
- ・運営方法を考えよう。
- ・案内役、説明役、アンケート役に仕事を分担し、来場者に地域の宝が伝わるように準備・練習をしよう。



※写真展開催に向けての準備の様子

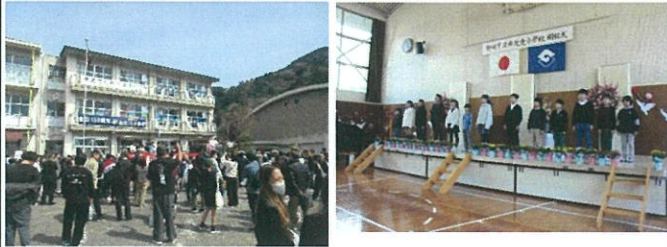
・今まで学んだ表現方法を地域の宝の魅力について伝わるよう展示方法を考えている。

- 【知識・技能】
展示物
- 【思考・判断・表現】
展示物
- 【主体的に学習に取り組む態度】
展示物・原稿・活動

㉗

写真展を開催しよう。

- ・たくさんの人に喜んでもらおう。
- ・入山地区を大切につなげていこう。



・参加者400名の方々に地域の宝を紹介できて、本当に嬉しい。これからも地域の一員としてこれからも地域を大切にしていきたいな。

・「地域の宝を伝えたい、残したい」という思いについて振り返ることで、地域の一番の宝は自分たちを支えてくれてきた地域の「人」とであると気付くことができる。

- 【主体的に学習に取り組む態度】
発表・活動
- 【知識・技能】
発表・活動

3 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

・子どもが「学校の思い出を写真に残したい」という思いを高めることができるよう、「閉校記念式典」という一大プロジェクトに合わせて開催するという設定で実施した。閉校に向け、由比北小の「宝」とは何か？という問いをもち、写真を撮影したり、過去の写真を探したりして資料を集めた。ある程度材料が集まってきたところで、子ども同士で「宝」の概念を話し合うことで、どの資料にも「人」がいて、「人のつながり」の中に「宝」があることを、子どもたちは見出していくことができた。その結果、写真展のテーマは「入山の宝 人」という閉校式にふさわしい地域の人のつながりにフォーカスを当てたものとなった。

(2) 実施にあたり苦勞した点

・学区が大変広く、山間部にあるため徒歩で地域の宝を探しに行くことは困難であった。そのため、いただいた助成金を活用し、少人数でタクシーを活用して調査に出掛けたり、地域の人会いに行ったりすることができた。また、写真展を開催するために、写真撮影のカメラは学校備品でまかなえたものの、現像のためのインク代、紙代、接着剤などの文房具代など多額の費用がかかることが分かった。これもいただいた助成金があったからこそ準備を進めることができた。

(3) 児童の反応

・写真撮影やインタビューに難しさを感じたタイミングで、地元広報誌を編集発行する株式会社するーかろの編集長の望月様、カメラマンの芹澤様に講師を依頼し、指導をいただいた。編集長やカメラマンといった広報のプロの方からの指導を受け、子どもの「地域の人への感謝を伝える写真展にしたい」という熱量は次第に大きくなっていき、休み時間や放課後にも作業を進める子どもの姿につながっていった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

・子どもが主体的に活動を進めるようになっていき、「この地区の〇〇さんの写真が足りないから撮影しに行きたい」との声を聞くようになった。子どもの要望を受け、教師も地域に何度も出掛け、この地域の様子を知るようになり、地域の魅力を再発見するようになっていった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容の関連づけから、留意すべき事項等〕

・今回の授業では、たくさんの写真を撮影する中で写真展のコンセプトについて思考し見出すという展開であった。対話を通して情報と情報を関係づけて共通点や新しい視点を見出していく過程には、子どもたちの多様な価値観や考え方が不可欠となってくる。今回、6年生6名、5年生2名という少人数での授業実施となり、少ない人数で情報を収集し、対話し、作業を進めるということになった。子どものもう一段階深い思考を導き出すためにも、本校が近隣校の小規模校と実施しているオンライン授業交流等を活用し、より多くの視点を得る機会が必要だと感じた。